つりずんの頃

作曲:永井龍雲

ふるさと) は今 うりずんの頃 また涙

懐(に)と

) は今 うりずんの頃

くも 生きて行く 胸初せ

3

うりずんの頃帰りたい 故郷(ふるさと)は今三線(さんしん) 大らかに響け 美海(ちゅらうみ)に

うりずんの頃帰りたい 故郷(ふるさと)は今

うりずんの頃

帰大和(あか) 場でであった。 までは、 を関じて、 夢砂で 郷(ふるさと)は うりずんの頃 礼(やまと)の水苦くの無垢鳥(むくど)を無垢鳥(むくど)をいるがばな) 夢破れ

つりずんの頃

今帰小南手懐 小人薫 つのかか ジ 開 洗 か 何いいの背には (ふでだよ)の ける

の頃

マうりずんの頁 等け 美海(ちゅらうみ)に いったい 故郷(ふるさと)は 等け 美海(ちゅらうみ)に 宝のこの命 宝のこの命 宝のこの命 宝のこの命 帰 響宝辛緑若けのく葉夏 \equiv んの頃(ふるさと)は

今うりず帰りたい